平成29年度
博物館年間スケジュール

●年間スケジュールは変更となることがあります。今後発行される「山と博物館」「広報おおまち」などをご覧ください。
●家庭の日（毎月第３日曜日とその前日の土曜日）は大町市民の入館料が無料です。
●年間を通じて65歳以上・小中学生の大町市民は入館料が無料です。

月（家庭の日）	常設展・企画展・関連イベント	講座・観察会・展示会など
4月（15・16） 5月（20・21）	**常設展** **「北アルプスの自然と人」** ※通年 １Ｆ常設展示 ２Ｆ常設展示	**おおまち博物館めぐりスタンプラリー** ４月１日～２月11日まで （主催　大町博物館連絡会） **講演会 「セブンサミッター・山田淳氏講演** **～登山界の革命児が語る山の魅力と山岳文化の未来～」** ４月16日（日） 午後１時30分～３時15分 会場：山岳博物館　講堂 （共催　山博友の会） **付属園まつり**（協力　山博友の会サークル「ボランティアの会」） 動物観察ツアー・スタンプラリー・給餌体験など ４月29日（土）～５月７日（日） 午前９時30分～午後４時30分 **鷹狩山 春のバードウォッチング** （共催　山博友の会） ５月13日（土） 午前５時30分～０時30分
6月（17・18） 7月（15・16）	**特別展 北アルプス国際芸術祭パートナーシップ事業** **「山と美術ー山岳風景画とウッドシャフトピッケルー」** ※期間限定展示　６月４日～７月30日まで	
8月（19・20） 9月（16・17） 10月（21・22） 11月（18・19）	**市立大町山岳博物館、大町登山案内人** **組合創立100周年記念実行委員会 共同企画展** **「大町登山案内人組合100年の歩みー岳とともにー」** ８月５日～ 11月26日 ■**オープニングセレモニー** ８月５日（土） 午前９時～ ■**ミュージアムトーク** ８月５日（土）・９月17日（日）・10月７日（土）・11月３日（金・祝） いずれも　午前10時～　午後２時～ 1918（大正７）年頃　對山館前【百瀬堯蔵】（個人蔵）	**さんぱくこども夏期だいがく** **雑草・雑木で和菓子と楊枝を作ってみよう** ８月３日（木） 午前９時30分～正午 （協力　山博友の会サークル「花めぐり紀行」） **自然ふれあい講座　みんなで温暖化ウオッチ** **「セミのぬけがらを探せ！」** ８月４日（金） 午前中（予定） （主催　長野県環境保全研究所　共催　市立大町山岳博物館） **講演会「信濃大町の山と人 100年の歩み」** ８月11日（金・祝） 午前中（予定） 会場：長野県山岳総合センターほか （主催　長野県山岳総合センター　共催　市立大町山岳博物館） **歴史探訪「湯俣へ 近代登山と電源開発の道を辿る」** ９月９日（土）～10日（日） 会場：七倉～湯俣 （主催　長野県山岳総合センター　共催　市立大町山岳博物館） **大町市「山岳文化都市」宣言15周年記念 講演会** **鹿島槍ヶ岳 カクネ里雪渓（氷河）学術調査団員は語る** **「秘境 カクネ里とは」** ９月23日（土・祝）午後７時～８時30分 会場：山岳博物館　講堂 ■**エクスカーション** ９月24日（日） 午前８時～午後４時　会場：小遠見山 ※受付は８月１日から。参加条件がありますのでお問い合わせください。 **木崎湖 冬のバードウォッチング**（共催　山博友の会） 11月～ 12月開催予定　午前９時30分～正午
12月（16・17） 1月（20・21） 2月（17・18） 3月（17・18）	**常設展** **「北アルプスの自然と人」** ※通年	

編集・発行
市立大町山岳博物館 OMACHI ALPINE MUSEUM —創立 1951 年—
〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
市立大町山岳博物館　編集責任者　鳥羽章人
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
✉ E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com

4月号
第 62 巻 第３号
2017 年

発行日　2017（平成 29）年３月 25 日
印　刷　有限会社北辰印刷
〒398-0002 長野県大町市大町 3871-1
TEL.0261-22-3030 FAX.0261-23-2010

〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
✉ E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com
市立大町山岳博物館公式 Web サイトは、
大町山岳博物館友の会の支援により博物館が運用しています。

OMACHI ALPINE MUSEUM 市立大町山岳博物館

山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

4月号
第 62 巻 第３号
2017 年

無料 Free

もくじ

今月の１枚 …… １ページ
・ライチョウ、山博で18年ぶりの繁殖に向けて
平成28年度　さんぱく昨年の活動から …… ２・３ページ
平成29年度　博物館年間スケジュール …… ４ページ

博物館施設案内はこちら

冬羽のメス。繁殖へ

ライチョウ、山博で18年ぶりの繁殖に向けて

佐藤　真

大町山岳博物館では、2004年を最後に日本のライチョウの飼育が途絶えていましたが、昨年６月に乗鞍岳で採取した卵から孵化した雛たちはすくすく育ち、12年ぶりの飼育が順調にスタートしました。昨年12月にはライチョウが逃げてしまう事故があり、皆様にはご迷惑とご心配をおかけしましたが、逃げた２羽の内の１羽を保護し、現在はオス2羽とメス1羽を飼育しています。

山博の過去の繁殖では、様々な試みがなされてきました。雛の餌の改良はもちろんのこと、卵を産むための巣の位置や巣の材料、飼育施設の構造や面積など、試行錯誤を続けてきました。山博での最後の繁殖は1999年ですので、約18年ぶりに繁殖に取り組むこととなり、山博の過去の経験と全国で飼育されている近縁亜種のスバールバルライチョウで得られた最新の知見を活かしながらの挑戦になります。

大事な繁殖だから、と頻繁に清掃したり様子を観察していると、メスにとってはストレスになることも考えられるので、慎重な取り組みを行っていきます。実際のライチョウのお見合いは４月中旬以降から開始する予定で、雌雄の相性が良ければ、その後に同居生活のスタートとなります。

今後はより一層、国や日本動物園水族館協会、そしてライチョウ類を現在飼育している富山市ファミリーパークや東京都恩賜上野動物園等との連携を強め、保護事業を進めてまいります。お力添えいただけると幸いです。

（市立大町山岳博物館　学芸員）

さんぱく　昨年の活動から

平成28年度に行った山岳博物館の行事、活動についてご紹介します。山岳博物館では平成29年度も、企画展やイベントを計画しています。また、博物館が行うべき研究や研究成果の社会還元に努めてまいります。皆様のご参加ご来館をお待ちしております。

ライチョウ飼育再開・逸出

6月に乗鞍岳から4個の卵を採取し、ふ化と飼育に取り組みました。当館では12年ぶりの取り組みでしたが、順調に成長しました。しかし、12月に飼育施設から2羽が逃げ、1羽は今も捜索中です。

ライチョウサミット「第17回ライチョウ会議長野大会」

◎平成28年10月15日（土）・16日（日）
大町市で開催され、ライチョウ保護とその生息環境保全に向けて、各方面の連携をより一層高める好機となりました。

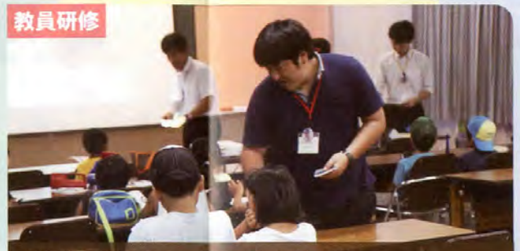
博物館実習

◎8月3日（水）～11日（木）
毎年、博物館学を学ぶ大学生等を受け入れ、博物館実習を行っています。今年度は4名の方が実習に参加され、地方博物館における役割とその実態について学習されました。

付属園まつりの開催

◎4月29日（金）～5月5日（木）
ゴールデンウィーク中は、飼育員による個性豊かな動物たちの紹介や写生大会、オリジナルスタンプを集めながら付属園を見ていただく各種催しを行いました。おおまびょんも遊びに来てくれて、皆さんとふれあいました。

教員研修



◎平成28年8月4～6日（木～土）実施
博物館と学校との学社連携活動のひとつとして、市内や近隣地域の小中学校の先生3名の教員研修を受け入れました。

自然ふれあい講座　温暖化ウオッチ　セミのぬけがらを探せ！

◎8月4日（木）
抜け殻の種類や量を調べることで地球温暖化が身近な自然にどのような影響を及ぼしているのかを考える講座で、大町市では4年目の実施となりました。
（長野県環境保全研究所との共催）

企画展「鹿島槍ヶ岳　カクネ里　氷河への道のり」

◎平成28年6月11日（土）～8月28日（日）
カクネ里雪渓の大きな氷体が流動していることが確認されたことを受け、急遽企画展が開催されました。パネルや動画、実物の資機材の展示、調査団員によるミュージアムトークの開催など、多くの方に氷河への理解を深めていただく機会となりました。

高橋広平写真展・対談

解説をする高橋広平氏

若手2人による対談

◎平成28年9月3日（土）～11月27日（日）【写真展】　◎平成28年9月11日（日）【対談】
雷鳥写真家・高橋広平氏による写真展を開催しました。期間中、鳥類の研究を専門とする小林篤氏との対談では、ライチョウの魅力についてそれぞれの視点から語っていただきました。

学校との連携授業

◎5～12月の間に、市内6小学校により延べ9回実施。
例年実施している市内小学校の博物館活用事業で、28年度も理科と社会科の授業で4年生延べ296人が博物館で学習しました。

◎平成28年6月22日（水）平野口編、10月30日（日）木崎湖編
博物館と友の会との共催事業として、27年度からシリーズで開催。探訪場所をかえながら大町市内にある北アルプスの山岳文化史ゆかりの名所を歩いて巡りました。

山の歴史ウォーキング　体感！山岳文化都市おおまち － 平野口編 －

平野口編

木崎湖編

高山植物の生活史研究にかかる現地調査

ヨツバシオガマに訪れたハナバチのなかま
ミヤマコゴメグサに訪れたハナアブのなかま

◎平成28年7月13日（水）～16日（土）【烏帽子岳】
◎平成28年7月20日（水）～22日（金）【針ノ木岳～蓮華岳】
高山植物の繁殖にかかる生物間関係を明らかにするため、大町山岳博物館友の会会員らとともに現地において訪花昆虫の行動記録および撮影の調査を2回にわたり実施しました。

登山史資料集発行に向けた現地調査

赤沢岳（スバリ岳山頂から）

十字峡（黒部峡谷下廊下）

職業体験学習

◎平成28年6～12月 実施
市内や近隣地域の中高校生（5校）による職業体験学習を受け入れ、地域の社会教育施設として、学校教育におけるキャリア教育推進に協力しました。

◎平成28年8月30日（火）～9月2日（金）【爺ヶ岳～針ノ木岳～七倉岳周辺】
◎平成28年10月3日（月）～5日（水）【黒部ダム～黒部峡谷下廊下～欅平】
後立山連峰を中心とした北アルプスの登山史にかかわる文献資料を収録した資料集（第3集）発行に向け、関係する山域の現地における記録調査を今年2回にわたり実施しました。

出張講座

他機関へ学芸員らが出向き講座を行っています。例年より多くのご依頼があり、北アルプスと人との関わりや、そこに住まう動植物、地質について関心を深めていただきました。